

花乃井だより

学校
通信

令和4年9月12日(月)
第100号
大阪市立花乃井中学校

“中秋(仲秋)の名月”に思いをはせて!!

9月10日(土)は『中秋(仲秋)の名月』でした。皆さんは大きな真ん丸いお月様を見ることができたでしょうか。中秋(仲秋)とは、旧暦の8月15日のことです。旧暦では7月～9月が秋に相当します。そして8月15日はそのちょうど真ん中なので中秋といいます。名月(十五夜)とは文字通り「美しい月(満月)」のことを指します。ちなみに満月は1年間のうちに12回～13回ほど見ることができますが、中秋が特別扱いされるのは、旧暦の8月が1年の中で最も月が明るく美しいとされているからです。日本では昔から『お月見』としてその年に収穫した作物やお団子・ススキなどを供えて、みんなでお月様を愛でる年中行事の一つとなっていました。



学校長の話より

さて、本日は、このお月様を見て宇宙への好奇心をさらに高めていった人物を紹介したいと思います。“現代物理学の父”と呼ばれるアルベルト・アインシュタインです。彼はドイツ南部の都市ウルムで暮らすユダヤ人の両親の元に生まれました。1879年3月のことでした。幼少期より方位磁石がきっかけで科学に興味を持つようになり、やがて宇宙の謎の解明へと科学者への道を歩み始めます。

彼の精密な天体観測は「一般相対性理論」として結実しました。その後、この理論は科学の発展に大きく貢献し、様々な分野に応用されていきます。その功績によって彼はノーベル物理学賞を受賞しましたが、そこまでに至る道のりはとても厳しいものでした。

父が営む工場の経営不振を機に学校を中退。その後、受験の失敗を経て何とか大学進学を果たすも、今度は就職でつまずく。研究の時間を確保できない日々が続く中、発表した科学論文はことごとく批難中傷を浴びました。それはこれまで常識とされた物理環境の概念を覆す内容であったために周囲に全く理解されなかったからです。ユダヤ人ということで迫害も受けました。しかし、彼はあきらめなかった。「人間としての真の偉大さに至る道は一つしかない。何度もひどい目に合うという試練の道だ」と決めて頑張りました。

1945年8月6日と9日、広島と長崎に世界初の原子爆弾が落とされ、無数の尊い命が一度に奪われた人類最悪の悲劇が起きた事実を知り、彼は絶句しました。彼自身は実際には原爆の開発には携わっていませんが、核爆弾の原理には、彼が相対性理論で示した質量とエネルギーの関係を示す公式が応用されたのです。彼は、その後悔を背負い、残りの人生を対話による核兵器の廃絶に捧げていきました。彼はこんな言葉を残しています。

「他人のために生きる人生だけが生きがいのある人生だ」「他の人の喜びを喜び、他の人とともに苦しむこと。これが人間にとて一番の指針です。」云々。まさに「何のための科学か」波乱万丈の人生の中でそれを問い合わせ続け、訴え続けて生涯を終えたのでした。

まだまだ暑い日が続きますが、これから秋の夜長がやってきます。そして読書の秋が待っています。様々な偉人の生き方を学ぶのに丁度よい季節となります。お月様等の自然を愛でる余裕をもって、学校生活にもチャレンジしていきましょう。

下半期生徒会役員選挙

本日は6限目に生徒会役員（会長・副会長・執行役員）選挙が行われました。新型コロ

ナウイルス感染症対策のため、立会演説会は各教室でオンラインになってしましましたが、各候補者と推薦人は立派に自分のアピールをすることができました。本校の生徒会役員の任期は1年間です。今回選出される役員の皆さんは来年の9月末までの任期となります。選挙広報での立候補者のアピールは次のとおりです。

- 「いつでも元気に頑張ります!!よろしくお願ひします。」
- 「みんなの願いを叶えます!!」
- 「一生懸命がんばります!!」
- 「限界まで頑張ります!!」
- 「一票お願ひします!!」
- 「清き一票をお願いします!!」
- 「全力で取り組みますので、どうぞよろしくお願ひします!!」



現代の選挙は民主主義を実現する手段の一つとなっています。その意味では、今回の生徒会役員選挙も皆さん方が社会に出た時の練習でもあります。現在のように人口が多い社会にあっては代表者を選んで（選挙して）政治や文化・社会生活のことを進めていく体制になっていますが、そこで大切なのが“民主主義”です。「自分たちのことを、自分たちで決めること」この民主主義の根幹をなすのは、相手を尊重してよく話し合い、共々によりよい道を選んで実践していくということです。互いに充分に議論した後に、最終の決断は多数決になることが多いですが、その際も少数意見を尊重し多数の暴力を許さないということを忘れてはなりません。

民主主義を象徴する言葉として「あなたの意見には賛成することはできません（反対です）が、あなたがその意見を主張することには賛成します。お互いに話し合って頑張って



いきましょう。」というものがあります。結局、一言でいえば“思いやり”ということではないでしょうか。今回の生徒会役員選挙に限らず、すべての取組みにおいて“思いやり”を基本として頑張っていきましょう。